

茨城県水戸市立見川小学校 (学校長 上田 壽行)

実施日	平成20年2月1日(金)	時間	午前9時30分～午後1時10分
実施場所	音楽室、教室	対象/人数	4年生 102名
担当教諭	武藤 真澄	ファシリテーター	-
講師	パーコフィ・エイキンス(ガーナ)		

活動内容

- ・ガーナの話(食生活、子供の遊び、学校の様子、音楽など)
- ・質問コーナー
- ・学校給食を会食

児童の感想

・国際交流でガーナの子ども達の生活や家族の話をいっぱい教えていただきました。ガーナと日本ではちがうところが多くてとてもびっくりしました。すごくびっくりしたのは、ガーナと日本の子ども達の生活の差です。女の子は小学生で料理を覚えてしまうということです。ほかに、お母さんの部屋のそうじをします。私と同じくらいの年なのになにすごいと思いました。また、学校の校長先生やあいさつをしたら家族のようになれるという話におどろきました。私もガーナの子ども達のようにあいさつをきちんとやり、勉強などをがんばりたいです。

先生の感想

・ドラム演奏や民族衣装により興味深く交流できた。日本とガーナの生活習慣の違いを具体的に説明していただき、子どもたちにとってとてもわかりやすかった。「あいさつ」「大人を敬う気持ち」「子どもの仕事」などのお話は、日本の子どもたちにも見習ってもらいたいことがたくさんあった。家庭教育にとってもよい話であったので、機会があったら保護者の方々にもぜひ聞いていただきたいと思った。

・また、外国人といえば白人の方との交流が多いなか、黒人の方と交流できる機会は貴重であると思われる。

成果と課題

- ・ガーナの文化・習慣・風習等に触れ、外国の人々と文化を知り、相手を尊重する心を育てるとともに、日本の国のよさや不足していることを振り返るよい学習とすることができた。
- ・今回の取り組みを通して、子どもたちが日本以

外の国の様子についてもっと知りたい、行ってみたい、外国の人たちと仲よくしたいという気持ちをもつことができた。

・人種や言語、文化、習慣の違いはあっても、同じ人間として通じ合えることのすばらしさを体感することができた。

